

## 1 経営的特徴と導入方法

ラークスパークは、キンポウゲ科コンソリダ属の一年草で、別名チドリソウとも言われる。花色は、青、藤、赤、桃、白などが中心であるが、近年は品種数も増加し、バラエティに富んだ花色を有するようになってきている。

本県では、秋～春は種、7～9月出荷が主な作型だが、今後は、高冷地育苗や冷房育苗による秋出荷型の確立と導入を図りたい品目である。

表1 10a当たり旬別所要労働時間（単位：時間）

月 旬 時間	1月			2月			3月			4月			5月			6月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
																12.0	32.0	32.0

7月			8月			9月			10月			11月			12月			合計
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
5.0	5.0	5.0	21.0	50.0	69.0	44.0	16.0	10.0	14.0	49.0	85.0	84.0	40.0	20.0	36.0			629.0

(注) 1. 秋田県作物別技術・経営指標(1996.2)

2. 出荷本数 32,000本/10a 無加温10～11月出荷

## 2 生理生態的特性と適応性

### (1) 原産と来歴

#### ア 原産

原産地はヨーロッパ南部で、比較的耐寒性もある。一本立ち系の品種群と「ブルースプレー」に代表されるスプレーの品種がある。

#### イ 来歴

16世紀後半からイギリスに入り育種された。わが国には、明治はじめに渡来し、秋播き一年草として広く栽培されている。

### (2) 生理生態的特性

#### ア 生育特性

ラークスパークは秋から春先に播種し、冬季間～早春の低温を受けたのち、春に抽だいし出らい、開花する。低温に強く、高温と多湿条件下では生育が悪い。

#### イ 生育・花芽分化発達と日長・温度

種子の発芽適温は15～20℃で、10℃以下の低温や25℃以上の高温では発芽率が極めて悪くなる。次に生育適温は低く耐寒性もあるが、節間伸長～開花をさせるためには、夜温10℃程度が適し、昼温も20～25℃程度が適する。また、温度が高いほど節間伸長開始や開花が早くなる性質を持ち、高温下では短茎で開花してボリュームが不足しやすい。

一方、日長反応についてはラークスパーは長日条件下で開花が促進される相対的長日植物であり、節間伸長の開始時期も長日条件下で早まる。開花は、日長時間が長いほど早まるが、特に16時間日長以上で促進する。冬～春期の栽培で長日処理を行う場合には、16時間日長になるように電照するのが効果的である。

(3) 本県での適応性

低温に強く、高温と多湿条件下では生育が悪いことから6月の切り花生産は本県に適合する。

### 3. 作型と品種

作 型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
無加温秋播き栽培									○	—	◎	
無加温春播き栽培		○	—	◎	—	×						
雨よけ栽培		○	—	◎	—	×						
雨よけ栽培				○	—	◎						

(1) 作 型

本県で行われている作型及び適合すると考えられる作型を表に示した。作型には施設で無加温栽培を行う場合と雨よけ栽培があり、これらを組み合わせることにより5月から9月上旬までの切り花ができる。

ア 無加温栽培

無加温ハウスを使い、秋または春に播種・定植する作型で、収穫期は5～7月となる。

イ 雨よけ栽培

冬から春にかけて播種、4～5月に定植する作型で、収穫期は7～8月となる。

(2) 品 種

花色は青、藤、赤、桃、白と多様である。品種は花色などの形質のほかに、開花の早晩性などを考慮して作型にあったものを選定する。冬～春の開花で到花日数を多く要する作型では早生品種を、高温期でボリュームのつきにくい作型では晩生品種を中心に選定する。現在市販されている主なタイプは以下のとおりである。

ア ジャイアントインペリアルシリーズ：八重咲き大輪で花が密につく。花色は赤桃、桃、紫、藤、白等

イ ミヨシシリーズ：八重咲きで早生～中生。花色は赤桃、桃、紫青、藤、白等

ウ オリオンシリーズ：八重咲きで中～晩生。花色は赤桃、桃、紫青、藤、白等

エ シドニーシリーズ：早生で茎は短い。八重咲き。花色は紫青、濃桃、白。

オ サンシャインシリーズ：開花、品質の揃いがよい。花色は赤桃、桃、青紫、藤、白等

カ スプレータイプ：細かく枝が広がるスプレータイプ。花色は青紫、白。



サンシャインカーマインローズ<sup>®</sup>



サンシャインホワイト



ブルークラウド<sup>®</sup>

## 4 栽培

### (1) 播種・育苗

#### ア 種子

種子は10mlで約1300粒で、発芽率70%程度を目安にして種子を準備する。目安としてはa当たり移植栽培では約10ml、直播で20mlである。

#### イ 播種

播種には平箱か、セル成型トレイを用いる。セルトレイは200穴が適している。用土は保水性・通気性に優れたものが望ましく、ピートモスを主体とした用土が使いやすい。1穴あたり2～3粒播き、4～5mm程度覆土しかん水する。

#### ウ 管理

播種後の温度は夜温10～15℃、昼温20～25℃を目標に管理する。は種後10日～2週間程度で発芽が始まり、3週間程で発芽がそろそろ。は種後6～7週間で本葉が4～5枚になったら定植する。生育を見ながら、播種は種4～5週間目から1週間～10日間隔で液肥を施用するとよい。

### (2) 定植準備、施肥

日当たりと排水のよい砂壤土か壤土が適する。粘土が強く、通気性のよくないほ場では立枯れ性病害が発生しやすい。定植床のpHは6.0～6.5が適当であり、低pHでは生育が劣るので調整する。堆肥はa当たり200kg程度施用する。施肥量は窒素、りん酸、加里ともにa当たり1kgを基準として、前作の状況をみて調整する。

### (3) 定植

栽植密度は無摘心栽培では床幅80～90cm、株間10～15cm、条間15cm程度、摘心栽培では条間、株間とも30cm程度を基準とし、作期などに応じて調整する。栽植密度が低いほど切り花のボリュームは得やすいが、分枝数が増加して過繁茂になりやすい。

### (4) 定植後の管理

#### ア 温度

低温に強く寒害の心配は少ない。しかし遅播きすると凍害を生じ枯死する場合があるので保温に努める。

ハウス内は日中は25℃を目標に換気し、秋から春にかけては夜間の保温に留意する。

#### イ かん水

定植後しばらくは過湿にならないように注意しながら十分行き、出らい期以降は軟弱化を防ぐために控えめにする。しかし、極端なかん水不足は下葉の枯れあがりなどを招くため、温度管理とあわせて品質の仕上げを行う。

#### ウ ネット

倒伏や曲がり防止のために15cmます程度のネットを張る。

#### エ 摘心

摘心する場合には、節間が伸長を始めて草丈が15cm程度になった頃を目安に行う。この時期には腋芽がほう芽を始めているので、仕立て本数を考慮しながら摘心する。

## 5 主要病害虫とその防除対策

デルフィニウムの項を参照する。

## 6 収穫・調製・出荷

### (1) 切り前（収穫適期）

花穂の1/3程度が開花したときがよいが、「切り前」は出荷先の市場及び季節で違うので確認する。

### (2) 収穫

花茎の元から切る。収穫は涼しい朝のうちにすませる。

### (3) 品質保持

ラークスパーはエチレンに対する感受性が高く、小花が散りやすい性格があるので、必ずSTS処理を行う。処理は採花直後に行い、0.2mMでは1時間、0.1mMでは6～12時間処理する。高濃度で処理すると過剰障害が発生することがあるので注意する。

### (4) 調製

規格別に切りそろえ、下葉をかき落とし10本1束で結束する。

### (5) 出荷

段ボール箱に詰めて出荷する。

## 参考・引用文献

- 1) 長野県、長野県中央会、長野県経済連、「花き栽培指標」、(平成10年)
- 2) 成沢久、「切り花栽培の新技术 一、二年草 下巻」、誠文堂新光社(平成3年)
- 3) 亀井孝祐、「切り花栽培技術マニュアル3」、誠文堂新光社(平成6年)

# ラークスパー栽培ごよみ

月	旬	雨よけ栽培		栽培の要点	摘要																									
		生育状況	作業																											
1	上	は種	定植床準備	<p>1 作型</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作型</th> <th>播種時期</th> <th>定植時期</th> <th>摘心</th> <th>収穫時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>無加温秋播き栽培</td> <td>9/下</td> <td>10/下～11/上</td> <td>—</td> <td>5/中～6/下</td> </tr> <tr> <td>無加温春播き栽培</td> <td>1/下～2/上</td> <td>3/下</td> <td>4/中</td> <td>6/上～7/上</td> </tr> <tr> <td>雨よけ栽培</td> <td>2/中</td> <td>4/中</td> <td>5/上</td> <td>7/上～8/上</td> </tr> <tr> <td>雨よけ栽培</td> <td>4/中</td> <td>6/上</td> <td>—</td> <td>8/上～9/上</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 品種 市販品種としてはジャイアントインペリアル、ミヨシ、オリオン、シドニー、サンシャイン等のシリーズがあり、早晩性・花色等を考慮し選定する。</p> <p>3 栽培 (1) 播種・育苗 ア 種子：目安としてa当たり移植で10ml、直播で20ml必要である。 イ 播種：平箱かセル成型トレイを用いる。セルトレイは200穴が適している。用土はピートモスを主体とした用土が使いやすい。1穴あたり2～3粒まき、4～5mm程度覆土しかん水する。 ウ 管理：温度は夜温10～15℃、昼温20～25℃を目標に管理する。播種後10日～2週間程度で発芽が始まり、3週間程度で発芽が揃う。播種後6～7週間で本葉4～5枚になったら定植する。 (2) 定植準備：堆肥をa当たり200kg程度施す。pHは6.0～6.5程度に調整する。基肥として3要素とも成分で1kg/a程度施す。なお、前作の状況をみて調整する。 (3) 定植：栽植密度は無摘心栽培では床幅80～90cm、株間10～15cm、条間15cm程度、摘心栽培では条間、株間とも30cm程度を基準とし、作期などに応じて調整する。 (4) 定植後の管理 ア 温度：低温に強く寒害の心配は少ないが遅播きした場合は保温に努める。ハウス内は日中25℃を目標に換気し、秋から春にかけては夜間の保温に留意する。 イ かん水：定植後しばらくは過湿にならないように注意しながら十分行い、出らぬ期以降は軟弱化を防ぐために控えめにする。 ウ ネット張り：倒伏や曲がりを防ぐために、15cmます程度のネットを張る。 エ 摘心：摘心する場合には、節間が伸長を始めて草丈が15cm程度になった頃を目安に行う。この時期にはえき芽がほう芽を始めているので、仕立て本数を考慮しながら摘心する。</p> <p>4 収穫・調整・出荷 (1) 切り前：花穂の1/3程度が開花したときが目安である。 (2) 収穫：花茎の元から切る。収穫は涼しい朝のうちにすませる。 (3) 品質保持：エチレンに対する感受性が高く小花が散りやすいので必ずSTS処理を行う。処理は採花後直ちに行い、0.2mMでは1時間、0.1mMでは6～12時間処理する。 (4) 調整：規格別に切り揃え、下葉をかき落とし10本1束に結束する。 (5) 出荷：段ボール箱に詰めて出荷する。</p>	作型	播種時期	定植時期	摘心	収穫時期	無加温秋播き栽培	9/下	10/下～11/上	—	5/中～6/下	無加温春播き栽培	1/下～2/上	3/下	4/中	6/上～7/上	雨よけ栽培	2/中	4/中	5/上	7/上～8/上	雨よけ栽培	4/中	6/上	—	8/上～9/上	<p>摘</p> <p>要</p> <p>出荷先や時期で違うので確認する。</p>
	作型				播種時期	定植時期	摘心	収穫時期																						
	無加温秋播き栽培				9/下	10/下～11/上	—	5/中～6/下																						
無加温春播き栽培	1/下～2/上				3/下	4/中	6/上～7/上																							
雨よけ栽培	2/中				4/中	5/上	7/上～8/上																							
雨よけ栽培	4/中				6/上	—	8/上～9/上																							
中	発芽																													
下	定植																													
2	上				活着																									
	中				摘心																									
3	上				茎伸長																									
	中				切り花																									
4	上																													
	中																													
5	上																													
	中																													
6	上																													
	中																													
7	上																													
	中																													
8	上																													
	中																													
9	上																													
	中																													
10	上																													
	中																													
11	上																													
	中																													
12	上																													
	中																													